

会議等の名称	第 32 回 （仮称）日進北部土地区画整理組合設立発起人会
日 時	令和元年 11 月 28 日（木） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分
場 所	北新町公民館

議事要旨

設計図の変更について

パートナーから設計図の変更について説明を行った。主な変更内容は、①企業誘致のための敷地確保による道路配置の変更。想定される用途地域が準住居系の用途となるため誘致する店舗は延床面積で 10,000 m²の商業施設となることを報告した。②事業ゾーンの街区の見直しは、地区内企業との協議次第で設計の調整が必要となることを説明した。③緑地によって最大 20mにもなる高低差を吸収し、住宅用地を最大限確保する街区の設定であることを説明した。

発起人会からの意見

- ・調整池の機能は、どの基準で想定しているのか。愛知県では 100 年に一度の 24 時間総雨量を更新し、約 770mmとしている。日進市では約 430mmとしている。水害が各地で起こっているなか、地区内や地区外の水害を防ぐような調整池の設計を行う必要があるのではないか。また、更新された基準を考慮した設計を行う必要があるのではないか。

（市やパートナーの意見）

- ・調整池の機能は、3 年に一度の降雨量を基準に計算を行なっている。調整池も地区内の地権者の負担で作るため、地区外の水害を防ぐことも考えた調整池とすると、地権者の負担が大きくなってしまう。調整池の設計は、従来の計算基準のままでよいのか、日進市で方針や計算基準を検証することとした。

地区内企業の対応について

日進市から発起人会へ、地区内企業と周辺住民の共存に関する課題を解決するためには、地区内企業との協議のほか、尾張県民事務所や愛知県とも相談が必要であるため、今後も相談を続けることとした。

地質調査(ボーリング調査)について

日進市から発起人会へ、調査の対象箇所の説明や調査地に該当する地権者には実施の通知とともに、期間や使用機械等の業務概要をお知らせすることを説明した。該当地権者から承諾書を得られた後、作業を行う流れとなることを発起人会と共有した。

アンケート調査の結果及び未提出者の対応について

パートナーから発起人会へ、アンケート調査の結果を報告した。貸地・売却・自己利用が約 30% ずつの回答となった。アンケート調査の結果を分析し、より良い土地活用を地権者に提案できるよう努めることを報告した。アンケート調査の回収率が約 85%のため、未提出者へ再度提出を促すことはしないこととした。

組合設立認可までのスケジュールについて

日進市から発起人会へ、スケジュールの変更点を説明した。現在、計画の修正を行なっているため、予定していたスケジュールよりも約半年遅れた令和 3 年 8 月に組合設立認可を目標とする考えを説明した。次回地権者説明会を令和 2 年 3 月の開催を目標としており、説明会の内容に関しては発起人会と日進市とパートナーの三者で相談して決定していくこととした。

今後のスケジュール

次回発起人会 令和元年 12 月 26 日（木） 場所：北新町公民館 時間：午後 6 時 30 分